

リーディングDXスクール事業【実践事例】

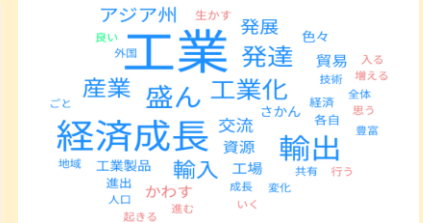
敦賀市立気比中学校（福井県）

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる汎用アプリの活用」

東京書籍『新しい社会 地理』1節 アジア州—急速な都市の成長と変化—

アジア各地域の「経済が成長した理由」「経済成長による課題」を各生徒がJamboardにまとめた。【資料①】は、単元のまとめとして、グループで、アジアの経済成長に共通する点を一般化したJamboardである。【資料②】は、生徒のまとめをテキストマイニングし、提示したものである。《成果》単元のまとめでは、生徒が特に注目していた「経済」に関する観点を視覚的に共有することができた。

地域	経済が成長した理由	経済成長による課題
アジア NISE	中心国は、工業革命を先取りし、アジアに波及させた。	都市化がもたらした、環境問題や交通渋滞、大気汚染など。
中国	一人あたり所得が、世界の平均より高い。	都市化の進展による、大気汚染や交通渋滞、大規模な都市計画の必要性。
東南アジア	海外企業の進出による、経済成長の促進。	都市化の進展による、大気汚染や交通渋滞、大規模な都市計画の必要性。
南アジア インド	人口が多いから、情報通信技術（ICT）による成長の促進。	都市化の進展による、大気汚染や交通渋滞、大規模な都市計画の必要性。
南アジア インド	南アジアは、人口が多いから、情報通信技術（ICT）による成長の促進。	都市化の進展による、大気汚染や交通渋滞、大規模な都市計画の必要性。
		石油への依存、都市化の進展による、大気汚染や交通渋滞、大規模な都市計画の必要性。



【資料①】

【資料②】

《課題》「人口」「資源」「地理」に関する考察は少なく、学習課題や問いの設定についての工夫が必要であった。

《その後の取り組み》

- ①導入で、課題について自分の予想をたてさせたり、資料や動画を用いて、考える視点を明確にするように努めた。
(例) 北アメリカの農業の特色について、実際の様子を動画で確認したり、GoogleEarthで航空写真を確認したりした。
- ②意見共有の際に、自分と異なる視点に着目させることで、多面的・多角的な考察ができるようにした。

東京書籍『新しい国語2』「走れメロス」

「走れメロス」の学習では、中間報告での実践を発展させ、下記の流れで学習を行った。

- ①課題に対する自分の考えをJamboardにまとめる。
- ②スライドに提出する。
- ③他者の考えを見ながら、コメントで意見交換する。

《成果》

- ・同時進行的に多数の話し合いが進むので、短時間で深い読みを共有できた。
- ・文字言語による交流は、日常生活でのSNSの使用に通じる面もあり、指導の効果が高いと感じた。

《課題》

- ・音声言語による交流も大切だと考える。指導のバランスを考慮し、文字と音声の長所を見極めて学習を行いたい。

Jamboardには、シートを画像としてクリップボードにコピーする機能があり、簡単に貼り付けできる。